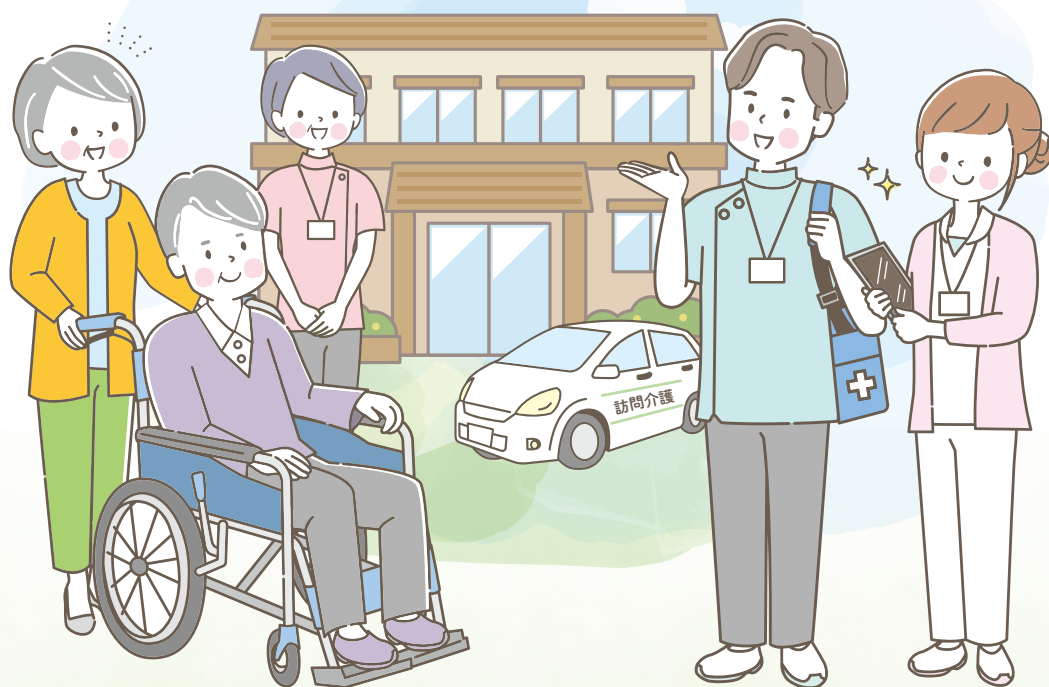


令和6年度

がんばる 介護事業所表彰



高齢者の自立支援や生活の質の向上、雇用環境の改善に
取り組む富山県内の介護事業所等を紹介します

「がんばる 介護事業所表彰」 とは…

高齢者の自立支援や尊厳の保持に資する良質な介護サービスの提供や、介護職員の意欲向上につながる人材育成の充実・職場環境の改善などに積極的に取り組むなど、他の模範となるような顕著な成果を出している介護事業所等を表彰します。これを広く周知することにより、介護サービスの質の向上や介護人材の安定的確保を図るものです。

(平成28年度創設)

表彰の経過等

募 集 期 間 令和 6 年 10 月 9 日(水)
～ 11 月 6 日(水)

審 査 会 令和 7 年 2 月 12 日(水)

表 彰 式 令和 7 年 3 月 28 日(金)

以下の2部門を設定し、
それぞれ該当する事業所を表彰しています。

自立支援部門

利用者のより豊かな生活の実現を目指して、自立支援・生活の質の向上、
介護サービスの質の向上に向けて優れた取組みを進めている事業所を表彰

【取組み例】

- ケアプランに「聞き書きボランティア」などインフォーマルサービスを取り入れたところ、
認知症の症状が改善した
- 介護ロボットの活用により、夜間事故を大幅に削減し入院者ゼロを達成した
- オンラインコンサートを施設で生中継し、楽しみながら機能訓練を行ったほか、オンラ
インを通じた同世代の高齢者とのコミュニケーションの促進につながった など

雇用環境部門

人材育成の充実や職場環境の改善などに積極的に取り組む事業所を表彰

【取組み例】

- 腰痛リスクの分析や介護ロボット等の導入により、職員の身体的負担の軽減を実現した
- 介護助手の適材適所な配置により、介護職員の負担軽減等、職場環境を改善した
- ICT機器の整備・活用により、データの一元化や業務省力化を実現した

対象要件

- (1) 県内で介護保険サービス又は障害福祉サービスを提供していること
- (2) 介護保険法、老人福祉法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、障害者総合支援法、労働基準法等の関係法令を遵守しており、過去3年間違反がないこと
- (3) 社会保険(厚生年金保険、健康保険(全国健康保険協会が管掌するもの)、船員保険、国民保険、労働者災害補償保険及び雇用保険をいう)に加入し、該当する制度の保険料の滞納がないこと
- (4) 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。)及び暴力団員(同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。)と密接な関係を有していないこと
- (5) 介護職員等処遇改善加算Ⅰ又はⅡ又はⅢ(旧「介護職員処遇改善加算Ⅰ」相当)を取得していること
(介護職員等処遇改善加算の対象ではない事業所については、同等の取組みを行っていること)

令和6年度受賞事業所一覧

自立支援部門

事業所名	取組概要
グループホームあっとほ〜む砺波 (医療法人社団明寿会) 〈砺波市〉	地域の一員として、あっとほ〜む砺波を知ってもらうとともに地域の方々との交流を図ることを実現。
リハビリ特化型デイサービス Re-TAC (合同会社Re-TAC) 〈富山市〉	ヘルスリテラシーを高め、地域の方が住み慣れた場所で住み続けることのサポートを実現。
老人保健施設アルカディア氷見 (医療法人社団明寿会) 〈氷見市〉	「通所ケアに通ったなら、その施設で朝顔を植えてあげたい、皆さんに見せたい」という目標をもっていたI氏(90代男性 要介護度2)の思いを実現。
射水万葉会 天正寺サポートセンター (社会福祉法人射水万葉会) 〈富山市〉	災害時にも安心して生活できるように自助、公助の体制整備を行い、防災という非日常の行動を利用者様・職員に、負担や違和感なくどのように日常生活の中に取り入れていくのかを念頭に防災の取組みを実施。
介護老人保健施設みどり苑 (医療法人財団五省会) 〈富山市〉	脳卒中片麻痺利用者の復職を実現。

雇用環境部門

事業所名	取組概要
グループホーム天神金さん銀さん (特定非営利活動法人生活支援センター アットホーム新川) 〈魚津市〉	ICTの活用で職場環境の改善を実現。
介護老人保健施設ささづ苑かがやき (社会福祉法人おおさわの福祉会) 〈富山市〉	職場環境改善のために短期間でICTを導入・利活用し、介護現場の連携を強化したことで、半年間で基本型から強化型老健になることを実現。
特別養護老人ホーム梨雲苑 (社会福祉法人梨雲福祉会) 〈富山市〉	SNSを活用し「介護の魅力」「施設の魅力」「職員の魅力」を発信し、法人の認知度向上、職員の帰属意識向上を実現。
小規模多機能型くれば陽光苑 (社会福祉法人陽光福祉会) 〈富山市〉	Googleフォームを活用し「訪問サービス」の実施記録のパソコン入力時間、実施チェック表作成時間短縮を実現。
アモール居宅介護支援事業所 (株式会社アモール) 〈富山市〉	介護支援専門員の働き方を模索し在宅ワークへの取組みを実施。

医療法人社団明寿会

グループホーム あっとほ～む砺波

所在地	砺波市鷹栖 1973-1
サービス	認知症対応型共同生活介護
電話	0763-33-1061
URL	https://meijukai.com/

評価の ポイント

- 様々な地域行事に参加するとともに、感謝祭を開催するなど、積極的に地域との交流を図るとともに、利用者の社会参加による生活の質の向上を実現している。

「地域の一員として」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

今までも地域行事への参加や季節ごとに外出をしていましたが、コロナ禍もあり、機会が減ってしまいました。新型コロナウイルス感染症が5類へ変更になったことから、地域行事に参加させてもらうようになりました。地域の方々と触れ合うことで、感謝を伝えたいと感じるとともに、地域の一員としてあっとほ～む砺波をもっと知ってもらいたいと考えようになりました。

取組みの概要・特徴

令和6年度、鷹栖環境保全委員との連携事業にて園芸活動を行いました。その後、委員の方々へ感謝祭を行いました。日頃の感謝を込めて、感謝状と手作りの記念品の贈呈をしました。そのほか、地区民運動会や地域の防災訓練など様々な地域行事へ積極的に参加するとともに、カターレ富山の「砺波市の日」には、応援に行きました。



特に工夫したこと・苦労したこと

ご利用者様には、行事内容を掲示、事前に声がけを行い行事内容を理解していただけるよう工夫しました。職員には、行事計画書を準備し、事故がないよう周知徹底するとともに、職員数を増やし、安全面にも配慮しました。また行事や外出した時はご利用者様の様子をご家族様に写真などにて報告しています。



取組みの成果

地域の方々との親しい関係を築くことにより、日常にご配慮いただけるようになりました。鷹栖という土地に馴染みのないご利用者様も多く入居されていますが、地域行事に積極的に参加させてもらい、顔なじみの関係を築くことができました。

合同会社Re-TAC リハビリ特化型 デイサービス Re-TAC

所在地 富山市日俣 157-1
サービス 通所介護
電話 076-460-3034
URL <https://re-tac.net/>

評価の ポイント

- 勉強会の実施により、利用者とその家族のヘルスリテラシーを高め、健康の維持をサポートするとともに、健康度や歩行能力を数値化することで利用者のモチベーションアップに繋げている。

「ヘルスリテラシーを高めて自立支援の向上」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

長年、理学療法士として働いてきた経験から、退院後の方の生活が本当に大切であるため、怪我や病気の治療だけでなく、健康を維持してその地域に住み続けることをサポートしたいと思いました。

取組みの概要・特徴

令和5年度から歩行能力の定量評価と科学的分析として筋力体重比や身長ストライド比の算出、インボディでの体組成測定などを行うことで歩行自立度や健康度を数値化しました。また、ヘルスリテラシーを高めるための勉強会は毎週テーマを変えて専門的な話を分かりやすくお伝えしてHPで見直しも出来るようにしています。



特に工夫したこと・苦労したこと

練習メニューだけでなく評価項目も多いため、職員の評価技術の勉強や時間内にサービス提供するためのローテーションやリストの作成が大変でした。勉強時間はランチョンセミナーで行うことで時間内に理解が進むように工夫しました。測定装置としてダイナモメーターと体組成計を導入しました。



取組みの成果

対麻痺（下肢の麻痺）の改善練習を行い、車椅子で利用開始されて杖歩行で復職された方もいらっしゃいます。また歩行再建としては1年間の利用で約150名以上の利用者の平均歩行速度が0.83m/s → 0.90m/sと0.07mの改善、ストライドも0.9m → 1.03mと13cmの改善を果たしています。また、口腔嚥下機能訓練や健康に関する勉強会もノートに書かれて勉強される方や、ホームページを見られる

ことでご家族とも健康に関する情報を共有されて健康活動を習慣化される方も増えています。

医療法人社団明寿会

老人保健施設 アルカディア氷見

所在地	氷見市鞍川 1878-1
サービス	介護老人保健施設
電話	0766-74-7060
URL	https://www.meijukai.com

評価の ポイント

- 利用者の「朝顔を施設に咲かせたい」という強い思いに対して、職員が丁寧なサポートを行うとともに、利用者の意向を尊重した取り組みにより、利用者のADLや生活の質が向上している。

「利用者さま（I氏）の“朝顔を施設に咲かせたい”という思いを」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

歩行障害の為、歩行器と車いすを使用し、日中は、ひとり家で横になって過ごすことの多いI氏（90代）が通所ケアに通うことになりました。I氏は施設の遊休花壇を見て、「朝顔を植えて皆さんに見せたい」と口にされたので、職員こぞって応援し思いの実現に至りました。

取組みの概要・特徴

朝顔を植える場所（日当たり、風通し、雨水等）や、I氏が作業するのに負担のかからない場所、状況等について検討を重ねました。I氏本人に園芸用の土から肥料、棚材に至るまで一つ一つを確認しながら進めました。



特に工夫したこと・苦労したこと

I氏の身体に無理がかからないよう、またケア利用時には毎回朝顔の手入に携われるよう職員が1人必ず付き添い、手伝える職員を集め、その日予定の手順を計画的に短時間で行いました。I氏不在の日や休日には他の職員や利用者が水遣りして、多数の花を最後まで楽しむことができました。I氏の発案で最後には来年に向けての種取りをしました。



取組みの成果

I氏は趣味の菊栽培歴60年の経歴を持ち、一連の手順を詳細に考え職員にアドバイスをしました。職員には土作り、棚作り、朝顔の植え付け等全てが初めての事であり、その段取り・指示についていくのに懸命でした。対話を重ね発話を促す絶好の機会となりました。I氏の意欲、発動性、表情、元気が改善し、来季の朝顔だけでなくチューリップやビオラ、パンジーなど次の植え付け計画へ大きな意欲が湧いています。MMSE 25→28/30点、ADL (BI) 75→80/100点。

社会福祉法人射水万葉会

射水万葉会 天正寺サポートセンター

所在地	富山市天正寺 484 番地 1
サービス	認知症対応型共同生活介護
電話	076-411-4040
URL	https://www.imizu-manyoukai.or.jp/

評価の ポイント

- 防災という非日常の行動を、利用者・職員に、負担や違和感なく日常生活の中に取り入れていくことを念頭に防災の取組みを行っている。地域の連携で、町内の支援が必要な方を受け入れる体制を整えた。

「災害時にも安心して生活できる自助、公助の体制整備」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

能登半島地震で施設の一部が損傷し不便を強いられました。実際に被災した時にどのような対応ができるのか職員は不安を抱えていました。被災時という不安な中で少しでも安心して生活できるように、利用者・職員に負担や違和感なく日常生活の中に防災を取り入れる取組みを行いました。

取組みの概要・特徴

避難訓練、シェイクアウト訓練、備蓄品（非常食）の試食、炊き出し訓練（キッチンカー等を使用し、保存食を活用）を実施し、ケアプラン1表に避難所を記載、ケアプラン2表に避難訓練に備えて歩行訓練と階段昇降を記載するとともに、断水対策、BCPの共有、町内会の一時避難場所として要支援者の受入、職員の勉強会を行いました。

特に工夫したこと・苦勞したこと

訓練ではYouTubeを見て同じ動作を利用者と何度も繰り返しました。（認知症自立度 IIb 4名、Ⅲa 4名、Ⅳ 1名）また、ケアプランのサービス内容に実際の避難経路での歩行訓練、階段昇降を取入れました。そして、町内会の自主防災会では立ち上げから何度も参加し、町内会との顔の見える関係を構築しました。さらに県防災会とも連携を図り、意見や助言をもらいました。



シェイクアウト訓練の様子



炊き出し訓練のキッチンカー



職員の勉強会

取組みの成果

今考えられる自助・公助の災害時の体制は整備ができ、参加者が増加しました。そして利用者・職員に、日常的に行っていることが防災に繋がっていることを意識付けることができました。災害時の体制整備は、常に変更や改善、更新が必要であり、地域との連携についても今よりも顔の見える関係を構築していくことが必要だと思い日々取り組んでいます。更に現在は災害時にデータが消失するのを防ぐためにクラウド化を実現しました。

医療法人財団五省会

介護老人保健施設 みどり苑

所在地	富山市秋ヶ島 146 番地 1
サービス	介護老人保健施設
電話	076-428-5565
URL	http:// www.sainouhp.or.jp/~midori/

評価の ポイント

- リハビリプログラムを細分化し、家族や多職種の職員で連携して介入を実施するとともに、職場訪問を行い課題や今後の見通し等を情報共有するなど職場と細やかな連携をとっている。

「脳卒中片麻痺利用者の復職」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

退院前カンファレンスに参加した際に、本人から復職の希望をお伺いしました。復職に向けて、入浴や歩行の自立、職場担当者から提示された復職条件（通勤方法の検討、職場内を移動できる歩行耐久性、フルタイムで働ける体力）の達成に向けて、生活行為向上リハビリテーション実施加算を利用し、介入する運びとなりました。



取組みの概要・特徴

生活行為向上リハビリテーション実施計画書を作成し、①当苑で行うこと、②自宅で行うこと、③セラピストが行うこと、④介護職が行うこと、⑤自身が行うこと、⑥家族と一緒にいることなど、プログラムを細分化し、進捗状況については毎月のリハビリ会議で振り返り、利用者の回復状況に応じて、適宜目標やプログラムの見直しを行いました。

月一回、自宅や職場を訪問し動作評価や環境調整の提案を行いました。

特に工夫したこと・苦勞したこと

早期に職場訪問を行ったことで、現状と課題が明確になり、ご本人の意欲が向上し、積極的に自主トレを実施されるようになり、体力向上に繋がりました。職場訪問には担当セラピスト、相談員が同行し、ケアマネジャー、職場担当者に利用者の現状を直接確認してもらい、今後の見通しなどの情報共有を行いました。

家族の復職への不安もあり、予定より復職時期を延長し、復職に向けた環境調整の依頼や短時間就労など段階的な勤務体制の提案、通勤方法の検討を繰り返し行いました。



取組みの成果

入浴動作については自宅での入浴が可能となりました。復職条件である歩行耐久性については、杖歩行にて400m程度の屋外移動が可能となり、発症から1年6ヵ月で復職することができました。始めの2週間は午前勤務、以降はフルタイム勤務となりました。

特定非営利活動法人生活支援センターアットホーム新川

グループホーム 天神金さん銀さん

所在地	魚津市天神野新 671
サービス	認知症対応型共同生活介護
電話	0765-31-9085
URL	http://www.at-home.or.jp

評価の ポイント

- 介護記録アプリとクラウドサーバーを導入することで職員の事務負担の軽減とスムーズなデータの共有を実現し、利用者への直接介護時間の増加、ケアの質の向上につながっている。

「ICT の活用で職場環境の改善」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

業務日誌や介護記録・申し送りメモなどを手書きで作成しているため同じ内容でもそれぞれに記録・転記を繰り返す必要があることや、記録が紙ベースであるため、保存や共有方法などが問題となっていました。また、申し送りに時間も要し、勤務内容の見直しが必要となっていました。

取組みの概要・特徴

タッチパネルのタブレット端末を使い、手書き入力や音声入力など多彩なデータ入力方法が使える介護記録アプリを使うことで、転記や申し送りなど重複する作業の見直しと事務負担を軽減しました。記録をクラウドサーバーで記録することで、複数の端末で同時に参照できるほか、離れた法人本部でも逐次確認できる環境を整えました。



特に工夫したこと・苦労したこと

データ入力が未経験な職員に対して、多彩な入力方法の端末を使うことで、「入力がスマートフォンと似ている」「タッチパネルで操作がわかりやすい」など職員年齢に関係なく好評価を得ました。また、職員のデジタルデバインド解消のため、法人本部に ICT 担当職員を、事業所にも ICT 生産性向上委員を置き支援体制を整えました。

介護記録は協力医への情報提供にも活用し、バイタルや生活状況などを提供しています。



取組みの成果

グループホームの職員数が限られており、職員間の情報共有を図ることで、転記作業や引継ぎ時間などが 10 ～ 15 パーセント減少し、その分利用者の介護に充てる時間が増えました。また、介護ロボットの眠りスキャンも導入しており、利用者の睡眠状態が 24 時間事業所内の記録パソコンから介護記録に使用できる各端末（ノートパソコン・iPad・iPad mini など）に表示され、夜間訪室の際に活用することで職員の負担軽減にもつながりました。

社会福祉法人おおさわの福祉会 介護老人保健施設 ささづ苑かがやき

所在地	富山市春日 362-1
サービス	介護老人保健施設
電話	076-467-5151
URL	https://osawano.com/

評価の ポイント

- 記録の紙媒体から電子媒体への移行等、ICTの活用により記録時間を短縮し、介護時間の増加を図っている。不明点などは即時解決できる委員会を設置し、ICTを導入しやすい環境を作っている。半年間で基本型から強化型老健を実現。

「職場環境改善のために短期間で ICT を導入・利活用し、介護現場の連携を強化したことで、半年間で基本型から強化型老健になること」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

令和 6 年 4 月に事業譲渡を受け、新しい老健として出発をしました。当初は、基本型で入居者の入退居がほぼ無い状況だったため「在宅生活を継続したい」という入居者の想いを叶えることが出来ていない状況でした。

取組みの概要・特徴

- ① 紙媒体から電子媒体への移行…新しくパソコンを27台とiPadを7台購入し、全職員にIDとパスワードを付与することで全法人職員との連携や部署内の連携を強化しました。
- ② 文書管理ソフトの活用…NASと全パソコンにDocuworksを導入し、各報告書の稟議決裁完了までの期間を2週間から2日以内に短縮しました。
- ③ 記録時間を短縮し、直接介護時間の増加…介護ソフト「ケアカルテ」、音声入力アプリ「ハナスト」、全職員へ骨伝導インカムの貸与(77台)、出勤者へのiphone貸与(40台)、NTTオフィスリンクの導入を実施し、職員間の連携強化や記録時間を短縮して直接介護時間を増やし、介護の質の向上を図ることができました。



特に工夫したこと・苦労したこと

同法人内のささづ苑、ささづ苑かすが（令和 5 年度内閣総理大臣表彰）の取組みを参考に実施しました。また ICT 委員を中心に講習会、フォロー体制を構築し、全職員が音声入力、Docuworksでの稟議決裁方法を習得することができました。

取組みの成果

職員アンケート結果

- 設問 1 音声入力ハナストを使用し、今後、記録の負担は減りそうか？
減りそう (91%) わからない (9%)
- 設問 2 オフィスリンクを導入し、内線で職員を探す手間は減少したか？
減少した (71%) わからない (29%)
- 設問 3 DOCUWORKS を導入し、申請時間や物品購入の時間が短縮したか？
短縮した (48.6%) わからない (29%)
- 設問 4 今後、ICT 機器を活用していくことにより生産性向上が図れると思うか？
図れる (89%) わからない (11%)



社会福祉法人梨雲福祉会 特別養護老人ホーム 梨雲苑

所在地	富山市吉作 1725 番地
サービス	介護老人福祉施設
電話	076-436-2002
URL	https://www.riunen.com/

評価の ポイント

- 施設の様子を発信することで、介護職の魅力の発信や人材の確保、職員のやりがい向上に繋がるとともに、利用者とそのご家族からの信頼の確保に繋がっている。

「SNSを活用し「介護の魅力」「施設の魅力」「職員の魅力」を発信し、法人の認知度向上、職員の帰属意識向上」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

介護職員の採用・定着は介護施設の喫緊の課題です。梨雲苑も例外ではなく、この課題を解決するために、入職者の早期離職（ミスマッチ）を防ぎ、やりがいを持って長く働ける職場環境にするために、梨雲苑が目指す“ビジョン”を外部に発信していく必要がありました。

取組みの概要・特徴

既にあったホームページに加えて、Instagram、Facebook等のSNSを新たに開設し、施設の特徴や機能、雰囲気、どのような職員が、どのように勤務し、どのような取組みをしているのか等について具体的かつ詳細・丁寧な情報の発信を心掛け、梨雲苑がもつ「介護の魅力」「施設の魅力」「職員の魅力」をありのまま伝えました。



特に工夫したこと・苦労したこと

SNSを効果的に運用するには、施設・職員を知ってもらう機会（「認知の機会」）を増やすことが重要です。「施設見学会」「就職説明会」「ボランティア活動」「イベント行事」等を積極的に行い施設を知ってもらうことからスタートです。そして、毎日更新することが重要です。普段見る何気ない様子の中にこそ、「魅力」がひそんでいるものです。



取組みの成果

SNSを開始してから、ミスマッチによる入職者の早期離職（3カ月以内）が減りました。また、利用者・入居者のご家族が発信情報を見て声をかけてくれるなど、施設や職員への安心感や信頼にもつながっています。そして一番の成果は、職場の活性化です。他部署の活動への理解が進み、自身の活動にも自信をもちやりがいを感じる職員、新たな投稿アイデアを提案してくれる職員もいます。梨雲苑が発信する「魅力」はまだ尽きません。

社会福祉法人陽光福祉会 小規模多機能型 くれば陽光苑

所在地	富山市中老田 844 番地 1
サービス	小規模多機能型居宅介護
電話	076-436-2203
URL	https://www.youkou-fukushikai.or.jp/

評価の ポイント

- コストをかけずに職員の事務負担の軽減につなげている。Google フォームのマニュアルを作成し、周知を行うことで訪問職員全員がスムーズに活用している。

「Google フォームを活用し「訪問サービス」の実施記録のパソコン入力の時間、実施チェック表作成時間短縮」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

利用者の約 7 割が利用される「訪問サービス」の内容は状況により変更があり頻繁な更新が必要です。以前は、紙の表での確認で手間がかかっていました。また帰苑後の記録にも時間がかかっており、簡単に実施内容の更新ができ記録も簡素化できる方法がないかと考え Google フォームの活用を開始しました。

取組みの概要・特徴

令和 6 年 6 月より訪問時のサービス内容を Google フォームで確認する方法に変更しました。訪問する際に 2 次元バーコード表を持参し、訪問職員が携帯しているスマートフォンで読み込み、サービス内容を確認後、サービスを実施しています。また帰苑後に記録入力する際は重複した内容は入力せず利用者の状態や言動を中心に記録する方法に変更しました。



特に工夫したこと・苦労したこと

- 事業所のスマートフォンを活用することで追加費用なしで工夫できないかを考えました。
- デジタルが苦手な職員も簡単に使うことができるよう「2 次元バーコードの読み込み」だけで確認できるようにしています。
- 地図、リハビリ動画などを入れてサービス内容が分かりやすくなるように工夫しました。
- Google フォームの使い方も職員間で共有し、内容変更に対応しやすくしました。

取組みの成果

職員へのアンケート結果から回答者全員が「記録の入力時間の短縮になった」と回答しています。また、取り組み前はエクセルで 1 時間程かけて作成していたチェック表が 15 分程で作成できるようになりました。記録入力では利用者の言動や体調を中心に記録でき、変化に気づきやすくなった良い面もありました。Google フォームは訪問記録だけではなく、利用者アンケート、職員の自己評価、法人内の動画研修などにも応用活用し時間短縮に加え分かりやすい実施ができています。

<フォームの例>

●様

自宅地図 ①

■月■日、自宅で転倒されました。様子に注意してください。
「通い」利用は、火曜、金曜です。

肩の運動方法 ②

<午前>
☐ 掃除 (木曜日)
☐ 給油 (玄関に灯油あり)

<午後>
☐ ゴミ出し (月曜) 玄関のゴミ箱に入れる
☐ 左腕、肩の運動 (30 回まわし) ※動画参照

送信

①自宅地図→自宅への地図を表示

②肩の運動方法→運動のやり方の紹介動画

訪問時行うことを曜日、時間別に記載

株式会社アモール

アモール居宅介護 支援事業所

所在地	富山市黒瀬北町2丁目7-8
サービス	居宅介護支援事業所
電話	076-461-3776
URL	kyotaku-toyama@amall.co.jp

評価の ポイント

- 在宅勤務によって働きやすくなり、職員の満足度が上がり、入職者が増えている。(2021年8月以降6名が入社) 離職者はゼロ。また、在宅勤務であっても、事務所勤務と変わらぬ対応が出来ている。

「介護支援専門員の働き方を模索し在宅ワークへの取組み」を実現しました。

取組みを始めた背景・経緯

育児休業の職員や定年後の職員の働きやすい職場環境、通勤時間や天候といった要因に影響されない勤務体系の構築が課題と考えていました。新型コロナウイルス感染症が蔓延し、これを機に在宅勤務へ舵取りの検討を行いました。

取組みの概要・特徴

- ① 介護保険請求ソフトのクラウド化を図り、ipadを導入し、外出先からの記録入力を可能としました。
- ② 事務所勤務当番を設置し、半日交代で関係業者、利用者への電話の対応、他事業所へのFAXを行いました。
- ③ 毎朝8時45分よりZoomで朝礼を行い、昨日の業務報告、当日のスケジュール報告、また、ビジネスチャットを活用し、日中の業務連絡や報告、退勤報告を行いました。



特に工夫したこと・苦勞したこと

効果を高める、持続するために工夫をした事は、在宅勤務という取組み自体、職員が今までに経験したことがない環境であったことから、集中力の継続や業務効率の向上、情報共有やコミュニケーションを図るツールを活用しました。

職員間の接する時間が以前と比べ、極端に少なくなり、コミュニケーション不足が懸念されたため、対面による週一回の定期ミーティングを行い、業務で抱えている悩みや問題点等、情報の共有とコミュニケーションの充実を図りました。



取組みの成果

在宅勤務導入においての成果としては、通勤時間が削減されるため、その時間をケアプラン作成やその他の業務に充てることができ、全体的な業務効率が向上しました。また、家庭との両立や柔軟な働き方が可能となり、職員の仕事に対する満足度やモチベーションが向上、精神的な余裕も生まれ、利用者へのケアの質が向上しました。

〈参考〉昨年度(令和5年度)受賞事業所

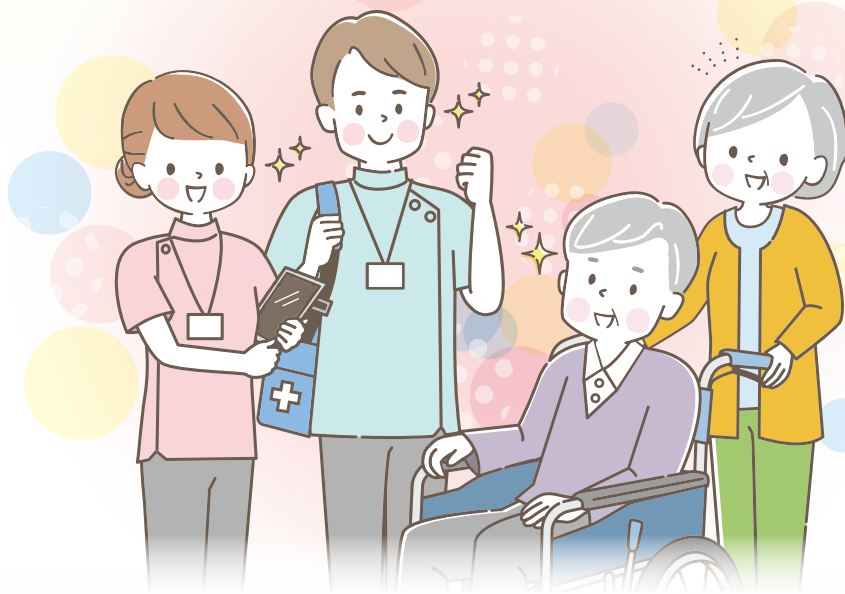
自立支援部門

事業所名	取組概要
特別養護老人ホーム梨雲苑 (社会福祉法人梨雲福祉会) 〈富山市〉	「移動スーパーの導入で利用者が自ら選び買い物する機会」を実現 ○利用者自身に買い物を楽しんでもらう機会を作ることQOLの向上を図るとともに、交通手段がなく日常の買い物に困っている地域住民にも移動スーパーを利用してもらうことで地域課題の解決、利用者と地域住民の交流機会の創出にもつなげている。
特別養護老人ホームささづ苑 (社会福祉法人おおさわの福祉会) 〈富山市〉	「利用者一人一人の思いに寄り添った個別ケア」を実現 ○外出・外泊・買い物など利用者一人一人から具体的な要望を聞き、その要望を叶えるために必要となる安全体制を確保したうえで、利用者の家族や地域住民等からの協力を得ながら「利用者が望む暮らしのケア」を実現している。
デイサービスまめの木 (有限会社まめの木) 〈富山市〉	「障がいのある利用者の身体能力の維持・向上、QOLの向上」を実現 ○身体障がいの影響によりコミュニケーションを取ることが難しい利用者へのケアにあたって、主治医・看護師・ケアマネジャー等の多職種からの意見を参考に職員が試行錯誤を繰り返しながら、利用者に寄り添った支援を継続することで、利用者の身体能力の維持・向上、QOLの向上を実現している。

雇用環境部門

事業所名	取組概要
朝日山ケアセンター (社会福祉法人萬葉の杜福祉会) 〈氷見市〉	「ウェルビーイングを意識した研修の実施により職員の資質向上と介護の質の向上」を実現 ○介護の専門的な知識を習得するための研修に加えて、職員のウェルビーイングを意識した研修を実施。職員の希望に沿った多岐の研修(ポジティブ心理学、聴き方講座等)を行うことで、職員の資質向上とともに介護の質の向上を実現している。
特別養護老人ホーム射水万葉苑 (社会福祉法人射水万葉会) 〈射水市〉	「無資格でも安心して働ける体制の確立により早期離職ゼロ」を実現 ○無資格でも安心して働ける職場環境を構築するため、エルダー制度を導入するとともに、採用担当者やサポートするエルダー同士が互いに情報交換を行い、高いモチベーションで新入社員の指導・育成に取り組む体制を構築している。
アルカディア雨晴 (医療法人社団明寿会) 〈高岡市〉	「独自のソフトウェアを開発し、職員の負担軽減や業務省力化」を実現 ○現場の介護職員からの要望を受けて、随時、ソフトウェアの機能を追加・更新することで記録業務の省力化や多職種間の情報連携強化を実現するとともに、これまで記録業務に費やしていた時間を利用者へのケアに充てることで、ケアの質の向上を実現している。

がんばる介護事業所表彰



令和7年3月発行

編 集 社会福祉法人富山県社会福祉協議会
富山県福祉カレッジ
とやま介護テクノロジー普及・推進センター

発 行 富山県厚生部高齢福祉課

発行所 〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号
TEL 076-431-4111(代)